瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和4年7月11日（月） NO.13 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

長崎っ子の心を見つめる教育週間始まる（その二）

連日の猛暑の中でも、生徒たちは元気に頑張っています。そのエネルギーはすごいなあと感心させられると共に羨ましくもあります。ただ、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」で命についての考えや思いを深めている中で、起きてはならない事件が発生し、心が非常に暗くなってしまいます。

しかし、生徒たちの歩みはこれからです。そんな生徒たちの校長講話での問いかけ『「心を見つめる」とはどういうことだと、思いますか（考えますか）？』の答えを紹介します。

- ○ 1回あったことを考え直したり、本当にこれでいいかと見つめ直すこと。
- ○ 命を奪うことや汚すことなどは絶対にしてはいけない。そのためにも、友達や家族、地域の人々と一緒に考えていこうということ。
- ○ たくさんの命がつながって、今幸せに過ごせているから感謝の気持ちをしっかりと持つこと。
- ○ 自分が今までやってきたことを色々な観点で振り返ることだと思います。そして、それをこれからの自分の行動に移すこと。
- ○ 自分の心をきちんと改めて見つめ直し、自分を成長へと導くこと。
- ○ 自分が嫌がることを人にしないこと。
- ○ 今、自分がしていること、行っていることが本当に正しいことかを見つめること。
- ○ 心は見ることはできないけど、命は1つしかないので、その命を守ること。
- ○ 自分の命、心は何のために、どういう人の思いがあるのかなど、しっかりと命と向き合うこと。
- ○ その子の本音や本心を全てさらけ出すということ。
- ○ 自分自身の気持ちや心をいったん落ち着かせること。
- ○ 自分の気持ちに向き合い、個人として成長できるようになること。
- ○ 一人一人の思いとか考え方はそれぞれ違うから、一人一人の目線に寄り添ってあげること。
- ○ 自分の行動に疑問を感じ、正しい方向へと向かうこと。
- ○ 自分の今ある命を大切にすること。一人一人の命の尊さを理解すること。命があることに感謝すること。
- ○ 自分や他人のことも大事にすること。
- ○ いじめがなく、毎日楽しく過ごせていること。
- ○ 本当の幸せとはどんなことか考えること。
- ○ しっかり話を聞いてあげたり、その人に寄り添うこと。
- ○ 命について、もう一度知り、自分を素直な人にするということ。
- ○ 今の自分の困っていることや、悩み事をそのままにせずに、相談できるようにすること。

短文で紹介していますが、実際はその前後に思いや感想がびっしりと書かれています。多くの生徒たちが本当によく考えてくれました。ありがたいことです。次は、今の自分からこれからの自分につなげることです。それが、めざす生徒像「愛」（思いやりがあり、感謝の心をもつ生徒）になります。

③「救命救急講座（2年生対象）」（7／4実施）

島原消防署北分署から5名の職員の方を講師にお招きして、救命救急講座を実施しました。1校時の校長講話を通して「命」について考えた当日の講座だったので、より一層真剣に2年生は取り組んでくれたと思います。

全体で話を聞いた後に、各グループに分かれ実技指導を受けました。最初は人形を使っての心臓マッサージの練習をしました。指導された内容をメモをとるなど確認しながら一生懸命に頑張っていました。その後、AEDの装着方法やその使い方も学習しました。そして、2人組で心臓マッサージとAEDを組み合わせた救命救急法に挑戦しました。現実にこういった場面に遭遇することがないことが一番ですが、熱中症や水の事故など、もしもの時の大切な備えとなります。しっかり覚えておいてほしいと思います。最後に、宮崎義真くんがお礼のことばを述べて終了しました。講座を通した生徒の感想を紹介します。

「今日は救命救急講座を初めて受けました。胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDの使い方を学びました。最初に30回ずつ心臓マッサージの練習をしました。思っていた以上に強い力で押さえないといけないのできつかったです。AEDのやり方は、機械が声を出して教えてくれるので、ある程度分かりました。道で、もし倒れている人や苦しそうにしている人がいたら、この授業を習うまでは結構迷ったり、行かなかったりししていたと思います。でも今日、やり方や知識は頭に入っているので、周りの力がありそうな人を呼んで、自分がAEDをして助けてあげたいと思います。そういうことがいつあるか分からなので、いつでもできるようにある程度の勇気をもって生活していきたいです。」

⑤「道徳の授業参観（全学年対象）」（7／7実施）

「命の大切さ」をテーマに、全学年対象に道徳の授業参観を実施しました。日ごろから換気しながらクーラーを効かせ暑さ対策を行っていますが、学年によっては廊下側の窓をあけ、扇風機も活用しながらの授業参観になりました。

前日までに、各担任が授業の準備に余念なく取り組んでいました。きっと、生徒一人一人とって「命の大切さ」についての新たな学びになる授業だったと思います。当日の夜には、授業の内容について親子でさらに思いを深めていただいたことだと思います。

また、道徳の授業参観後には、各学年の保護者会も開かれ、生徒たちの1学期の様子や夏休みに向けての話し合いがなされました。一人一人の個別の様子については夏季休業中に実施される二者面談・三者面談で、詳しくお話ができるものと思います。尚、当日の参観者数は次の通り（参観者数／在籍数）でした。

1年生**23**／41、2年生**21**／42、3年生**20**／37で、各学年共に半数以上の参加をいただきました。お忙しい中に来校いただきありがとうございました。